

広尾防災公園 現場だより

第3号

編集・発行 市川市行徳支所地域整備課広尾防災公園担当室 市川市末広1-1-31 (TEL 359-1287)

<http://www.city.ichikawa.lg.jp/gyo07/1112000001.html>

広尾防災公園は、平成22年4月の開園を目指して、近隣の皆様のご協力を得ながら工事を進めています。現場は安全面や環境面に配慮して管理柵を設けているため、普段はなかなか現場の様子が分からないので、この「現場だより」を通じて工事の進捗情報等について皆様にお伝えします。

< 基盤整備工事 >

現在、行っている工事は「基盤整備工事」と称しまして、先日完成した「土壌汚染対策工事」の後、公園の最終的な仕上がり高さまで盛土をする、謂わば公園の骨格を造る工事です。

公園が約37,000㎡と大きいだけに、造成する土量も莫大です。写真のような大きなブルドーザーで一気に敷き均しをします。



造成するにあたり、隣地との境界部には、写真のような擁壁を施工します。最終的には、土に埋まってしまう、その上に設置するフェンスしか見えません。陰の功労者です。

公園区域は、土壌汚染対策工事により汚染物質が敷地外に出ないように封じ込められています。よって、雨が降っても地面にしみ込まず、遮水シートを伝って全て公園外周のU字側溝に集まります。右の写真を見てください。皆さんのお家の周りで見かける側溝と比べて、非常に高さがあります。この雨水は全て、5月に完成した「雨水貯留槽」に入ります。降った雨水が一気に公園区域外に出ないための水害対策です。

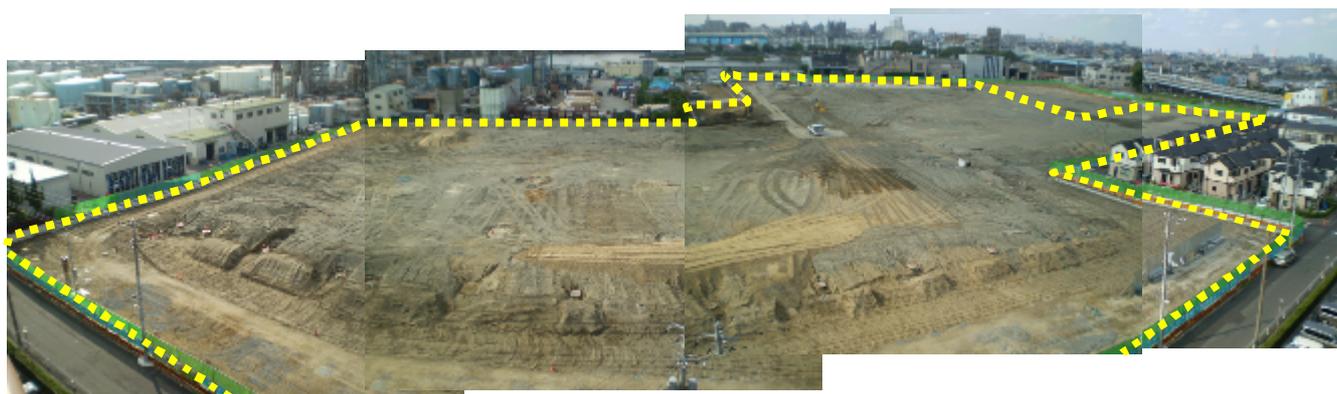




これは、「地下排水」と言って、単粒度の砕石と有孔管により、地面下の水を効果的に排水する方法です。これにより、いつもジュークジュークしているような場所が無くなります。

土壌汚染対策工事を施しているという、特殊な土地ならではの工夫がここにも見られます。

9月17日現在の現場の状況です。



今回、大規模な造成工事なのに、7月～8月は殆ど降雨がなかったため、本来土の中に有する水分が無くなり、砂が舞いがって近隣の皆様に大変ご迷惑をおかけしました。写真のようにスプリンクラーで散水しながらの作業をしております。



<今後の予定> 平成22年4月の完成に向けて、今後も安全に工事を進めていきます。何卒、ご理解とご協力をお願いいたします。

	平成18年度	平成19年度				平成20年度				平成21年度				平成22年度
実施設計		土木・造園				建築								4月開園予定
土壌汚染対策工事 (土地開発公社発注工事)		[Yellow bar spanning from start of H19 to end of H20]												
雨水貯留槽等整備工事		[Yellow bar]				[Yellow bar]								
耐震性飲料用貯水槽整備工事		[Yellow bar]												
土木工事			敷地造成等				[Yellow bar]							
造園工事							[Yellow bar]							
建築工事							[Yellow bar]							